

Ⅲ—①②③ 附属型コミュニティスクールの構想

なぜ、附属型コミュニティスクールなのか？

様々な課題

地域・家庭

高齢化
過疎化

教育力低下
子育て不安

防災対策
の必要性

やりがい
生きがいの希薄化

学校・子供

教員の
負担感
多忙感

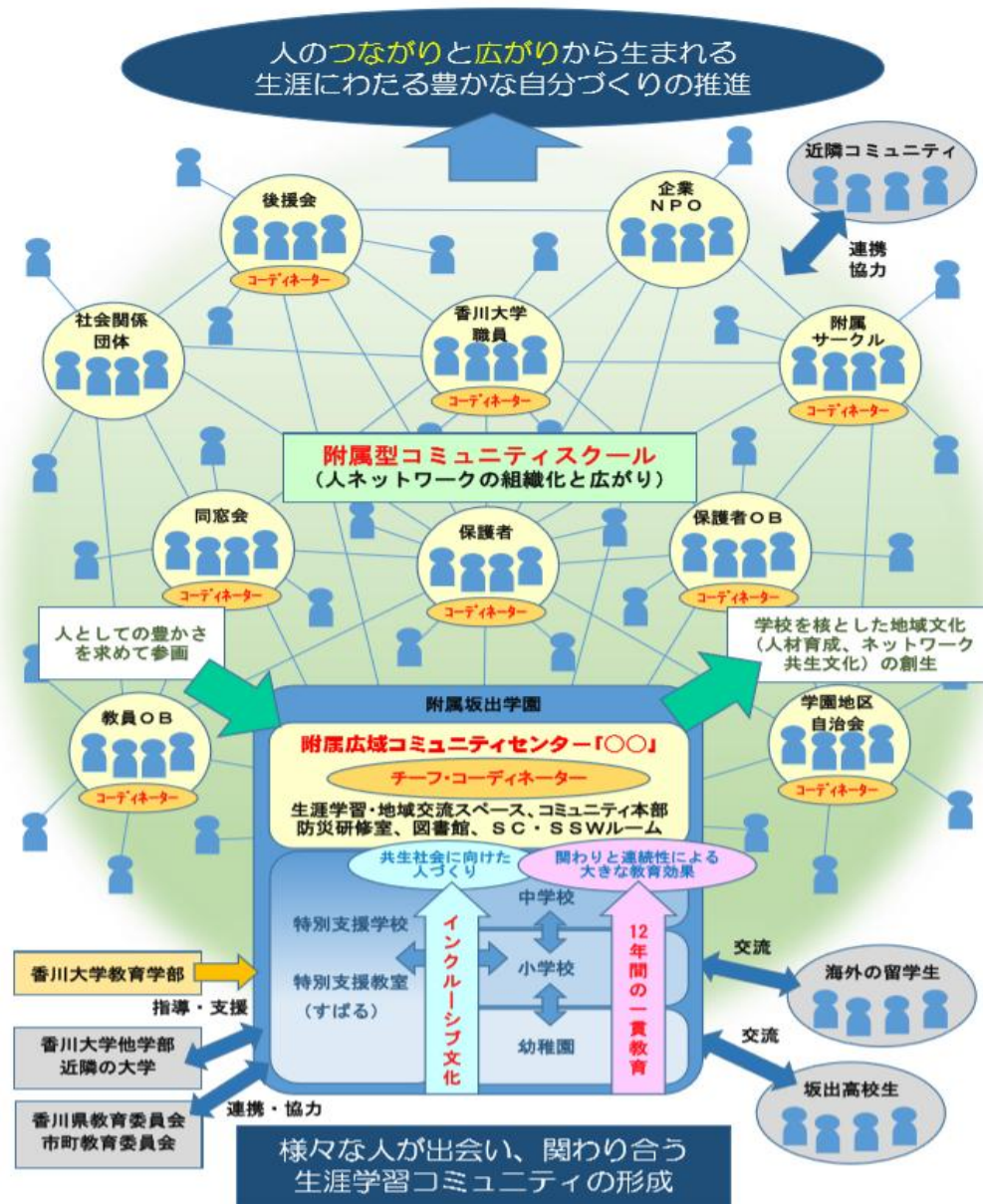
教育人材
の不足

人との
つながりの希薄化

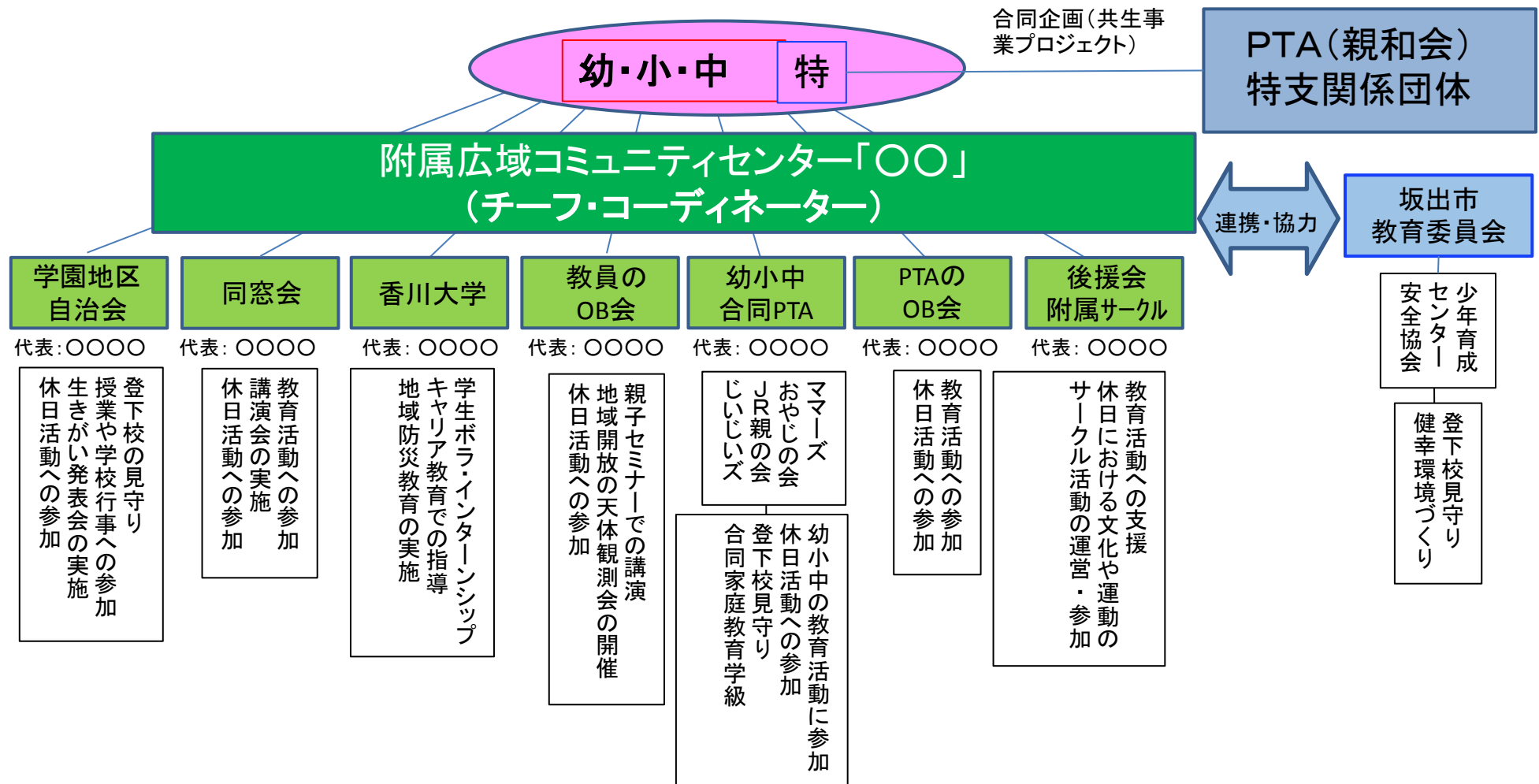
多様な子供
の存在

- ・ 附属坂出学園に関係する幅広い教育人材や人とのつながりがあり、それらの有効な活用により、課題を縮小させたい。
- ・ 地域の方も子供も、様々な人との関わり合いにより、互いの豊かさを追求しようとする生涯学習の基盤を創りたい。
- ・ 附属学校ならではの固定された地域のない新しいタイプのコミュニティスクール（CS）として、高校の広域CSのモデルになりたい。また、近隣のCSと連携しながら、よい影響を与えたり支援を行いたい。

人が集まり、
地域文化創生の核となる学校へ



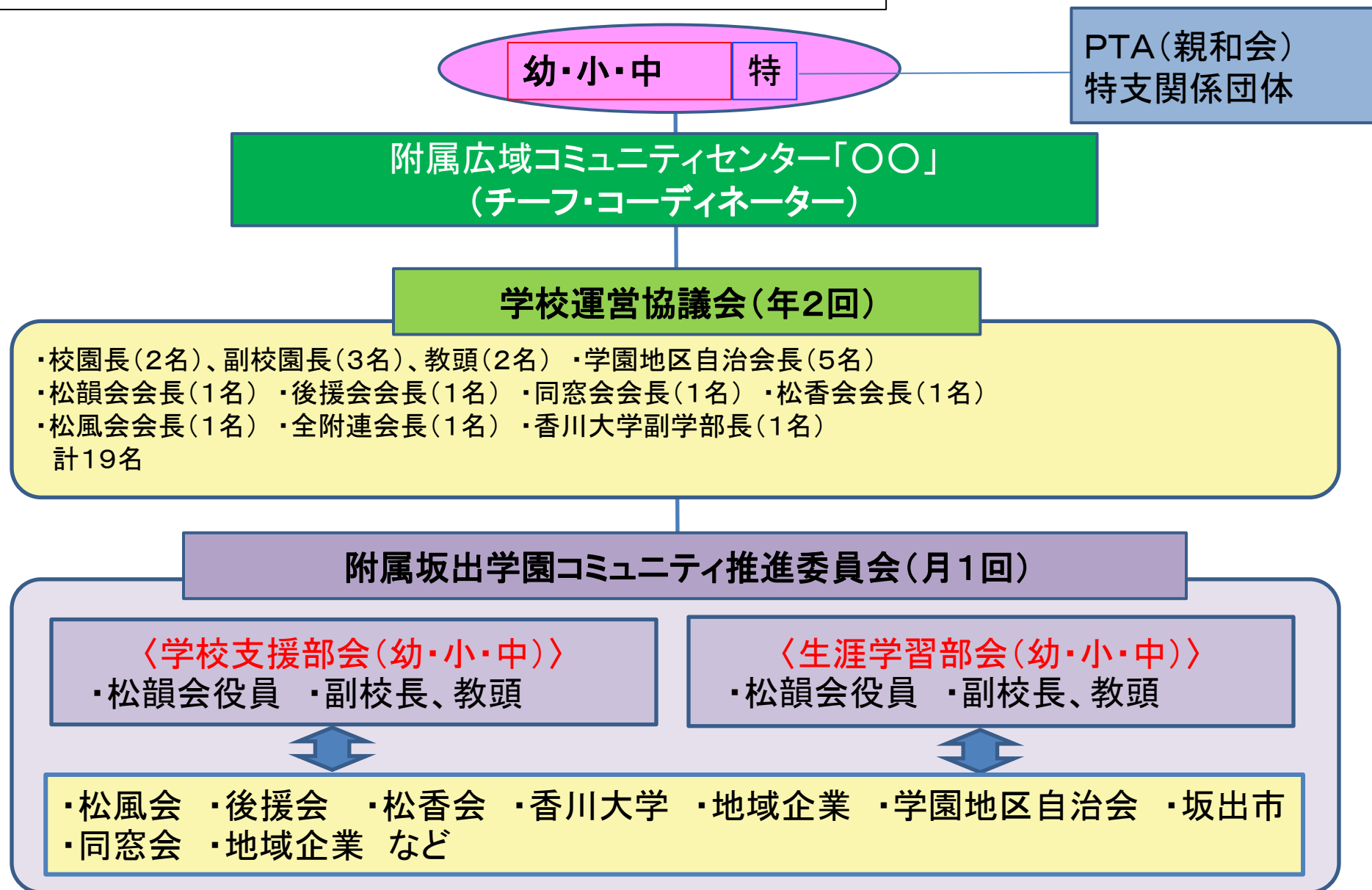
Ⅲ―①②③学校運営協議会の組織案(R元年度に準備, R2年度から実施予定)



- ・それぞれの願いや思いをもとに協議し、生涯学習コミュニティとしてのより良い活動を生み出す。
- ・学校をフィールドに、様々な人が出会い、関わり合い、喜びを感じ合える機会の充実を図る。
- ・関わる様々な人々のネットワークの組織化とその広がりを図る。

新しい生涯学習コミュニティの形成

Ⅲ―①②③附属坂出学園コミュニティスクールの組織(案)



(Ⅲ―②)教育人材開発(チーム附属坂出学園の協育)

幼小中合同PTA



<小:パトロール(JR親の会)>



<小:英語支援(ママーズ)>



<小中:キャリア学習(保護者)>



<中:天体観測会(おやじの会)>



<幼:おやつの日(ママーズ)>



<小:家庭科支援(ママーズ)>



<小:いじめ防止教室(保護者)>



<幼小中合同学校メンテナンス>

坂出高校



<幼:遊び(坂高生)>



<小:技能教科支援(坂高生)>



<中:CAN学習アドバイス(坂高生)>



<小:高校生が実習生の授業を参観>

地域関係機関



<幼:もちつき(地域クラブ)>



<幼:獅子舞(保存会)>



<小:安全教室(JR坂出駅長)>



<小:交通教室(坂出警察)>

香川大学



<中:キャリア学習(大学教授)>



<インターンシップ型実習(学生, 院生)>

教員OB会



<小:理科工作(教員OB)>



<中:長尾監督講話(教員OB)>

同窓会



<小:松尾豊氏講演(卒業生)>



<中:佐藤勝彦氏講演(卒業生)>

地元企業



<中:CAN学習に協力>

(Ⅲー②)教育人材開発(附属特別支援学校の協育)

地域の方々



<マーケット(地域の方々)>

町ボランティア



<ふれあい祭り(町ボランティア)>

お話ポケットさん



<セタ集会(民間ボランティア)>

府中小学校



<交流学习(府中小学生)>

地元企業



<現場実習>

坂出警察



<自転車教室>